

制限付き一般競争入札 対象を拡大し本格実施

市は、公共工事の発注について、より透明性の確保を図るため、昨年6月から税込みの設計額が5000万円を超える土木一式工事および建築一式工事を対象とした制限付き一般競争入札の導入や、工事に掛かる費用見込額(予定価格)の入札前公表などを試行し、入札制度の改革について検討を進めてきました。その結果と、本年3月の総務

制限付き一般競争入札とは？

入札しようとする工事概要を市ホームページで公告し、あらかじめ定めた資格や要件に合致する建設業者が参加して行う入札。

指名競争入札(工事現場に近い地元業者や工事の実績のある業者などで市が選定した指名業者が参加して行う入札)と比べて、より多くの業者の参加が可能となるほか、業者は現在受注している工事量や人的配置の都合などによりその入札に参加するかどうかを自由に決められるなどのメリットがあります。

省通知「地方公共団体における入札及び契約の適正化について」を受けて、本年7月から入札制度を次のとおり改めることとしました。

①制限付き一般競争入札の拡大
制限付き一般競争入札の対象を、原則として設計額が1000万円を超える工事に拡大しました。制限付き一般競争入札は、土木、建築、電気、管、舗装、水道施設(管布設)工事などについて導入します。対象は、原則として市内に本社、営業所を置き、各業種で格付けされた業者です。

②地域要件の設定
応札が可能となる業者数が原則として10以上となるように、地域要件を拡大しました。

③予定価格の事前公表
試行していた制限付き一般競争入札案件の予定価格の事前公表について、本格実施することとしました。

◎問い合わせ先
本庁総務課契約係 ☎82223



浅井市長、藤堂教育長に大舞台での健闘を誓った選手ら

全国高等学校総合体育大会

本年度の全国高等学校総合体育大会(インターハイ、2007 青春・佐賀総体)に、市内高校から一関学院高女子バスケットボール部、一関二高女子フェンシング部、陸上七種競技の佐々木理沙さん(一関一高3年)、弓道競技の若生えみさん(一関二高同)、フェンシング競技の佐々木慶将君(一関学院高2年)、小岩絵里さん(一関二高3年)、小野寺絢子さん(同)、菅原佳奈子さん(同2年)の2団体、6個人が出場の栄冠を勝ち取りました。

7月4日、選手らは浅井市長に出場のあいさつを行いました。浅井市長は「高い目標を掲げ、努力を積み重ねた結果ですね。すばらしいことです。心から祝福します。悔いのないように頑張ってきてください」と激励。選手たちを代表し、小岩さんが「インターハイでは自分たちのすべてを出し切り、優勝を目指して頑張ってきます」、一関学院高バスケット部の高村真梨子部長(3年)が「スピードあるプレーで全国2勝を目指します」と、それぞれ力強く健闘を誓いました。

インターハイは、7月28日から8月20日まで、佐賀県で行われます。



全国大会での決意を述べた中村さん(左)と宇津野さん(右)

全国小学生陸上競技交流大会

7月27・28日の両日、大阪長居競技場で開催の第23回全国小学生陸上競技交流大会に出場する中村美咲さん(一関小5年)、宇津野麻衣子さん(厳美小同)は5日、両校および陸上競技協会関係者とともに市役所に浅井市長を訪れ、出場のあいさつを行いました。

6月23日に北上市で行われた県大会で、中村さんは5年女子100m種目で14秒20、宇津野さんは共通女子ソフトボール投げ種目で50m30のいずれも一関市小学校新記録で堂々の優勝を飾り、全国大会出場への切符を手に入れました。

浅井市長は「全国大会への出場おめでとう。一生の勲章になりますね。全国大会ではいつものペースで、おくせず、自信を持って臨んでください。活躍を期待しています」と祝福しました。

4月末から特設陸上部ではほぼ毎日走ってきたという中村さんが「タイムを縮めて優勝を目指します」、3年生の時から野球をやっている宇津野さんは「もっと遠くに投げて、5位以内を目標に頑張ります」と、それぞれ決意を語りました。

羽ばたけ！アスリートの大空へ

みちのくの夢と希望乗せ四半世紀

東北新幹線25周年



一関と首都圏を2時間余りて結ぶ高速交通の要、東北新幹線

東北新幹線は6月23日、開業25周年を迎え、JR一ノ関駅でも記念行事が催されました。新幹線コースで行われた記念セレモニーは、「時の太鼓の威勢良い響きで始まりました。赤坂光弘駅長のあいさつ後、開業と同

じ昭和57年生まれの人から公募により「一日駅長」に選ばれた佐藤ゆかりさん(24)「山目」への辞令が交付されました。佐藤さんは「新幹線は人を乗せるだけでなく、人と人の心を結ぶもの。これからもいろいろなものを結び付けていってほしいです」とあいさつ。浅井市長が「当市は新幹線の大きな恩恵を受け、岩手県南、宮城県北の中核都市として大きく発展してきました。来年の平泉を中心とした文化遺産の世界遺産登録実現でさらにたくさんの観光客が当駅を利用するものと思われ、一ノ関駅の拠点性が高まる中、市としても高速交通網を活かしたまちづくりを進めてまいります。今後ますます、東北新幹線がわれわれみちのくの夢と希望を乗せて快走するよう祈念します」と祝辞を述べ、関係者・来賓がくす玉を割って開業25周年を祝いました。



赤坂駅長(右)とともに出発を合図する「一日駅長」佐藤ゆかりさん

東北新幹線は昭和57年の同日、盛岡駅―大宮駅間で開業しました。当初一ノ関駅の停車は1日4往復で、大宮までを2時間36分、大宮から上野までは連絡専用列車「リレー号」が結び、一ノ関駅から上野駅までの所要時間は、乗り換えを含み3時間18分でした。その後、路線は60年に上野駅、平成3年には東京駅へ延伸し、盛岡以北も14年に八戸駅へ延伸開業しました。これらとともに運行本数の増加とスピードアップが図られ、現在一ノ関駅には1日約25往復が停車。一ノ関駅―東京駅間が最速2時間10分で結ばれ、一関と首都圏をつなぐ高速交通の要として大きな役割を果たしています。

世界遺産を目指して

新シリーズ「骨寺村荘園遺跡講座 その1

中尊寺と骨寺村のかかわり

中尊寺経蔵と骨寺村荘園

一関インターから国道342号を須川方面に車で15分ほど行くと、磐井川沿いの崖とせり出す岩山に左右を挟まれた、道幅が急に狭まる場所にさしかかります。そこが来年夏の世界遺産登録を目指す、平泉の文化遺産の一つ「骨寺村荘園遺跡」の入り口です。遺跡がある厳美町の本寺地区は、中世に「骨寺村」と呼ばれた中尊寺経蔵の荘園でした。当時描かれた絵図の農村景観を今に伝え、現地に立って絵図の世界を体感できる大変貴重な遺跡です。現在の「本寺」という地名は、江戸時代の初めに「骨寺」から変化したと言われています。ではその骨寺村とは一体どういう所だったのでしょうか？

に取り掛かりました。そして度重なる戦で命を落とした敵味方すべての人々の霊を慰め、弔うために中尊寺の建立を始めたのです。約100年にわたる黄金文化、平泉の歴史はここから始まります。清衡は、自らの発願による「紺紙金銀字文書一切経」(約5300巻)を8年かけて完成させた。自住房蓮光を、その経巻を納める経蔵の初代別当に任命しました。この時、蓮光が私領であった骨寺村を経蔵に寄進したところ、改めて清衡から経蔵の維持費用を賄う土地、「荘園」として与えられたのです(1126年)。これが中尊寺経蔵別当領「骨寺村」の始まりで、15世紀の室町時代まで維持されていきます。

今から950年前の平安時代中頃、奥州では前九年、後三年という二つの大きな合戦がありました。この争いに巻き込まれ悲惨な運命に接した藤原清衡は、11世紀末に拠点平泉に定め、浄土思想に基づいた平和な都市の建設

※荘園は奈良時代に始まり、室町時代まで全国に散在分布した貴族、寺社などの私的所領地をいいます。それに対し、国の支配下にある土地を「公領」といいます。

◎問い合わせ先
本庁骨寺荘園室